



## 神奈川県「大学発・政策提案制度」に採択 若年層にピロリ菌感染対策を啓発

横浜市立大学 学術院医学群 消化器内科学（前田慎主任教授）の須江聡一郎助教による提案事業「神奈川県の若年者によるヘリコバクターピロリ感染症対策のモデル事業」が、神奈川県の「大学発・政策提案制度」に採択されました。

本事業では神奈川県と協働して、胃がんの原因ともいわれるヘリコバクターピロリ菌（以下、ピロリ菌）の感染について大学生等を対象に若年層の段階から検査し、アンケート調査の結果を県ホームページなどで情報発信することで、感染によるリスクや治療に関する啓発活動を展開します。また、検査により陽性の場合、未病\*の段階から除菌治療を行い、その重要性について情報発信していきます。

未病\*・・・人の健康状態は、ここまでは健康、ここからは病気と明確に区分できるわけではなく、健康と病気の間で連続的に変化しており、その状態を「未病」といいます。（神奈川県 WEB サイトより）

### 【神奈川県「大学発・政策提案制度」】

地域の課題を専門的な知見や人材等を有する大学との連携により解決することを目的として、県内に所在する大学等から県政に関わる政策提案を募集し、公開コンペ方式の審査により選ばれた提案について、大学と県が協働で事業を実施するもの。 神奈川県 WEB サイト <http://www.pref.kanagawa.jp/cnt/f5902/p715295.html>

応募件数：8 件 採択件数：3 件

### ■本事業の背景

ピロリ菌は日本人の約半数の人が感染していると言われ、感染すると胃粘膜を傷つけ、胃炎や胃潰瘍、また胃がんをも引き起こす細菌と言われています。このピロリ菌は若年のまだ病気を引き起こしていない未病の段階で除菌することで胃の病気の発生を抑えることができるため、それらの啓発活動を若い世代に行うことにより、未病\*の改善を図ろうというものです。

### ■事業の概要

提案事業では、本学の新入生を中心とした約 2,000 人を対象に、若い世代にピロリ菌検査とアンケート調査を行い、陽性の場合には除菌治療を行うとともに、アンケート結果を広く公表します。これにより、若い世代を中心に広く県民にピロリ菌感染対策の必要性を発信し、感染予防や除菌治療に対する意識改革を促すことを目的にしています。

### ■今後のスケジュール

神奈川県と本学で事業実施に向けた手続きを進めており、平成 30 年 4 月からの政策実施を予定。

YCU  
横浜市立大学

#### お問合せ先

（本事業の内容に関するお問い合わせ）  
学術院医学群 医学部 消化器内科学教室  
助教 須江 聡一郎 Tel. 045-787-2326

（取材対応窓口）  
研究基盤課長 竹内 紀充  
Tel. 045-787-2019